

広報 いまり

昭和55年 3月19日 毎月1日発行 定価1部20円 昭和55年 1月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No. 311

おめでとうございます

1980年代。それは無限の可能性を秘めた新しい時代への「船出」であり、明日へはばたく「ひらけゆく伊万里」の夜明けです。

'55

1

月

年 新 賀 謹

市民の皆さん、八十年代という末広がりの年を迎えて、本当に芽の出るおめでたい年に皆さんと共に頑張ろうではありませんか。

皆さん、あけましておめでとございます。

国は新しい時代の抱負として文化の時代・国際化の時代に併せて公正

と清潔の時代と銘打っています

ですが、私共

地方自治体もこの国の方針

に則って施策を進め、加えてわが伊万里

市にあつては、さらに伊万里市の名声を一段と浮揚する年になりたいと思います。

先ず国のいう文化の時代とは定住圏構想にもある如く地方の特色ある文化づくりをすることに於て地方の時代を確立し、田園都市国家の実現と家庭基盤の充実をめざして

おり、その限りに於いては地方の歓迎するところです。

ただ、現状のような財源や制度において中央集権的な政府でどれ程実現されるかが問題でこの推進をはかつてわが

伊万里市は歴史と地勢にもとづいた文化をうちたて伊万里市の真の名声を確立しなければ

思います。

公正と清潔は官公庁の当然の義務で常に反省して守り抜き信頼ある市政を確保しなければなりません。

いまマスタープランの改定が検討されており、今年は新しい時代に向つての計画の年であり、伊万里湾の開発

八十年代を

伊万里市浮揚の年に

伊万里市長

竹内 通教



はなりません。

次の国際化の時代については昨年伊万里市からも独自の

訪中団を派遣した如く、伊万里市の将来発展の方向は国際化の中にあり、中国を起点に国際社会の中に伊万里の名声を復活するといふか、新たに確立することが今後の使命と

せねばなりません。今年(さる)年で衆智を集める年

と思ひます。

伊万里市独自の文化が形成され、中国を起点に国際社会に進出し、オールドイマリの名声に優るニューイマリが建設されるよう市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

今年生れた人は西暦二〇〇〇年つまり二十一世紀のはじめに丁度成人となります。いわば今年からは二十一世紀の準備の年ともいえます。また、八十年代を迎えてとよく言われるように、これまでの高度成長期、低成長期の波をふまえて安定した新しい方向を見出すべき年でもあります。

伊万里市でもマスタープランを見直す年にしていきますが、そういう計画の年にはすぐれた知恵が心要で、そのような時、申年を迎えたことに私は天の時を感じます。

日本の歴史で有名な日本一の太閤さまになった豊臣秀吉は猿面冠者といわれ、真田十勇士の中の猿飛佐助は忍者ものの代表とされ、中国のかの有名な西遊記でもその主役はサル(孫悟空)で、歴史や物語りを支える主役になっています。

勿論世の中には長短二面がありますが長所をとってよくしてゆくことが大切で、今年(さる)は申年に因んでよい知恵が出され八十年代の更に二十一世紀を見通す立派な計画が樹てられるよう望んで止みません。(竹)

成人おめでとう

明日へはばたけ若者たち

1月15日は成人の日

1月15日は「成人の日」。今年は769人の方が晴れやかに成人式を迎えます。おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年の社会への「門出」を祝い励ましましょう。
成人式は市民会館で10時から行います。

社会への「旅立ち」

荒木霜春さん(東山代町里)

私たちは、この殺伐とした世の中を生きていかなければなりません。
しかし、自分だけという自分中心の考え方や機械的な生き方は、やめようと思います。1980年は飛躍の年として一つの目的をもってやりぬこうと思います。



しかし、自分だけという自分中心の考え方や機械的な

20歳、今日から大人への仲間入り、背のびせず、一步一步確実に生きて行こう。いろんな出逢いがあるだろう。また、去る人も出てくるだろうが、くじけずより多くの友達をつくろう。

「ナーみんな、
20歳、何んとなくニャッと
今日この頃である。

久保田明美さん(松浦町宿分)

20歳……学生気分の抜け切れない私にとって、正直なところまだ実感が湧いてきません。

しかし、20歳、つまり成人という言葉の響きを受けたときに一人の社会人として、その責任の重さを感じ、今日から20代、自分の将来を見つめて生きていかなければ……と考えます。



成人したからといって、人生は必然的に変わるものではない

はたち 20歳のころ



市議会議長
河村兼雄

青年期を迎えた転期として徴兵検査の制度があった。

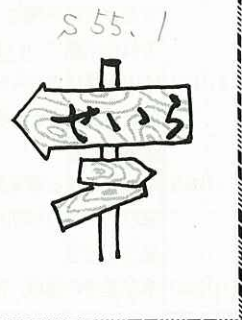
当時は国民ひとしく軍国主義を貫き、国に尽くすことに徹していた時代で「忠君愛國、父母に孝に、一旦緩急あれば義勇公に奉ずる」と教えられ、20歳になったときは更にその決意を新たにした時代でした。

今日の青年は民主主義を完全なものに高めていく次代の担い手として、また社会人として自覚と責任を果たしてほしい。

と思いますが、成人を機会に私自身をもっと見つめ直し、社会人として行動に責任を持った、新しい私の道を根気強く歩いて行きたいと思います。

中国訪問やら思い出深い一年となりました。
さて今年(さる)の年です。さるどしの人には大いに頑張ったねばなりません。
先ず「桃太郎」の童話に出てくる犬・猿・雉は桃太郎の智・仁・勇を表すものとされ、その中で猿は智の象徴といわれています。
今年(西暦一九八〇年)

でも広めたいと努力して、皆さんがより深く愛読くださるの、何よりのはげみです。
昨年(未(ひつじ))の年では千十二支が一巡する還暦に当たるところから、生れ変わった気持ちになることを心掛けて一年をすごしました。丁度、市制施行二十五周年の記念の年で、交響詩伊万里の発表会やら、



運動広場整備など3億5195万円補正

第4回定例会市議会

第4回定例会市議会は、12月11日から24日まで開かれ、昭和54年度一般会計や特別会計の補正予算をはじめ、市教育委員の任命など議案33件と報告1件を審議、昭和53年度一般会計決算などを決算特別委員会で慎重審議するため継続審議としたほかは可決しました。

一般会計 131億4276万円 認承補助事業など最少限度を

昭和54年度一般会計に、3億5,195万円を追加し、予算総額は、131億4,276万円になりました。

今回の追加は当面急を要する経費や補助事業など事業費の認承決定に伴うものについて、最少限度の追加を行ったものです。

主なものは、農業構造改善事業の内容変更に伴う経費3,314

万円や地域農業生産総合振興事業の円滑な推進をはかるための補助金8,235万円、松浦川河川敷コミュニティ運動広場の施設整備および職員の給与改定に要する経費などが補正されました。

田尻教育委員が再任

市教育委員会委員の田尻徳磨氏（山代町楠久＝45歳）の任期が、12月31日で満了することに伴い、改めて同氏が委員に再任



されました。

田尻氏は昭和51年から教育委員として市教育振興の発展に尽くされており、これからの活躍が期待されます。

「カブトガニを守る会」 などに補助

生きた化石「カブトガニ」を死滅の危機から守ろうと結成された「カブトガニを守る会」の運営補助などを補正しました。

休 会 中 の 議 会 活 動

議会は、常任委員会のほかに四つの特別委員会を構成し、議会休会中に活動しています。主な活動は次のとおりです。

◎不況対策調査特別委員会

7月30日	特定不況地域指定に関する法令及び資料を検討 委員会活動について協議
8月10日	市内業種代表から経営の現況並びに意見などを聴取 企業を視察
9月21日	不況債に係る事業計画の内容聴取、事業の早期発注と地元発注を要望
11月30日	事業進捗の聴取、推進の要望

◎環境センター建設調査特別委員会

7月23日	建設計画の内容聴取 委員会活動について協議
8月3日	黒川町立目の建設予定地及び唐津・東松浦地区広域圏組合唐松清掃センターを視察
8月30日	福岡県 荻田町清掃工場及び広島県三原市清掃工場を視察
12月11日	鳥栖市衛生処理場を視察 視察結果に基づき要望事項を検討

◎公共下水道調査特別委員会

7月11日	委員会活動について協議
7月23日	計画の概要並びに作業経過の内容聴取・調査活動の検討
11月29日	終末処理場の諸問題を検討
12月7日	事業進捗の要望事項を検討

◎昭和53年度 企業会計決算審査特別委員会

11月13日	国民健康保険病院事業特別会計の決算審査
11月15日	水道事業特別会計の決算審査
11月17日	工業用下水道事業特別会計の決算審査
12月10日	各決算審査の結果報告書作成

日本初の海洋温度差発電実験所

佐大が七つ島工業団地に

海水の温度差を利用して発電する日本で初めての「海洋温度差発電実験所」の起工式が12月19日、七つ島工業団地内で行われました。

この発電実験装置「不知火5号」は、佐賀大学理工学部が海洋温度差発電の実用化を目指し



▲海洋温度差発電実験所の起工式

研究開発を学内で進めていたものを本格的な実験に移すための施設で2月に完成の予定です。

海洋温度差発電は表層海水と深層海水の温度差を利用して発電する方式で、沸点の低いアンモニアなどを温かい海水で蒸発させるものです。

この実験は、国の新エネルギー開発計画「サンシャイン計画」の一つとして、太陽エネルギー地熱利用などとともに有力視されているもので、関係者から大きな期待が寄せられています。

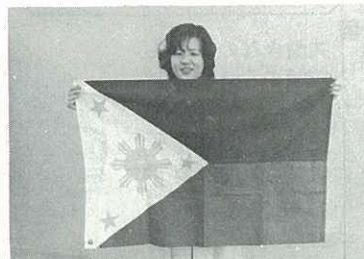
フィリピンからメッセージ届く

フィリピンのマニラ・パサイ市長から伊万里市長へ、メッセージと国旗が届きました。

このほど、フィリピン戦没者慰霊法要団(大宅広海団長46人)が同国を訪れた際に、竹内市長が託した友好メッセージに対しマニラ・パサイ市のヤスール市長が贈ったものです。

同市長は「伊万里はフィリピン材の輸出先の港であり、われわれの希望の港です。

伊万里市と友好を願っております。」と述べています。



▲フィリピンから贈られた国旗

市の人口

(12月1日現在)

総人口	61,195人 (+30人)
男	29,023人 (+16人)
女	32,172人 (+14人)
世帯数	16,327世帯(+20人)
市民課調べ、()は前月比	



貿易実績は27億9,642万円で前月比4億2,303万円の減。

〔輸出額〕 1億1,042万円

〔輸入額〕 1億6,922万円

〔船舶の入港〕 14隻

〔寄港地上陸許可者数〕 290人
中国46、香港7、フィリピン69人、インドネシア80人、韓国88人。(特別上陸 ベトナム38)

青年団交通安全キャンペーン



地区別飲酒運転検挙者数

(昭54.11.30現在 伊万里警察署調)

地区	1月~10月	11月	累計
伊万里	4	0	4
大坪	5	0	5
牧島	14	0	14
立花	8	0	8
大川内	1	0	1
黒川	6	1	7
波多津	4	0	4
南波多	8	1	9
大川	4	0	4
松浦	3	0	3
二里	5	1	6
東山代	12	1	13
山代	9	2	11
(市外)	34	2	36
計	117人	8人	125人

1月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜 9時30~15時 運転免許証更新時講習会
- ・5・6日 8時~12時 名村造船社員採用試験
- ・8日(火) 9時~12時 建設業経営審査申請説明会
- ・15日(火) 9時~13時 成人式(市教育委員会)
- ・19日(土) 9時~12時 中学校就職者面接(職安)
- ・20日(日) 10時開演 教育大講演会(佐教連)
- ・20日(日) 13時~17時 まんが映画まつり
- ・27日(日) 13時~17時 映学会「せむしの子うま」他
- ・29日(火) 9時~12時 幼児映画「黄色い雨がさ」
- ・30日(水) 13時~15時 健康づくり推進指導員講習会



松浦信夫さん



松尾房代さん



中島善重さん



岩崎光孝さん

竹内市政が誕生して今年は11年目を迎えました。
同じく社会の門出「成人」を祝ってから11年目を迎えた「30歳
の若人たち、をまじえ、さらに80年代を力強くはばたこうと、
「ひらけゆく伊万里、をテーマに広報座談会を開きました。

ゆとりと個性ある町に
松浦信夫さん(伊万里)

10年近く郷土を離れていて昨年
帰ってきましたが、急激な発展と
変ぼうにたいへん驚きました。
発展のためには企業誘致も必要
ですが、伊万里に古くから伝わる
財産を残した、ゆとりと個性のあ
る町づくりが必要だと思います。

大きな駐車場を作って
松尾房代さん(牧島)

牧島に嫁いで6年になります。
買い物は街まで車で行ってますが
止めるのに苦労しており、大きな
駐車場があればと思います。
地域にママさんバレーなど練習
ができる施設を作ってもらいたい。

若者が残れる開発を
中島善重さん(大坪)

若者が郷土に残れるような開発
を進める必要があると思う。
伊万里の魅力は伊万里湾なので
この開発には慎重をきしてもらい
たい。開発は自然を壊さないこと
を最優先にやってもらいたい。

伝統芸能伝承の機会を
岩崎光孝さん(大川内)

25周年記念の秋祭りはよかった
ので続けてほしい。各町の伝統芸
能を発掘、伝承するために披露で
きる場を作る必要がある。
青年がくつろげる施設がほしい。

郷土名産で観光客の増を
小林しずのさん(南波多)

ふるさと伊万里はすばらしい住
みこちのよい町です。
郷土名産の焼き物とフルーツを
目玉に観光客がもると増えるよう
に努めなければと思います。
南波多に1日も早く水道がほしい。

笑いを町の雰囲気
峰輝正さん(黒川)

東京の友人が伊万里の名は神秘
的な響きがあり飛鳥村の印象さえ
感じるといった。中国の景德鎮市
と友好姉妹都市の締結は前向きで
進めてほしい。町に笑いのある雰
囲気づくりを進めたらと思う。

美しい伊万里湾を守ろう
岩野広喜さん(東山代)

最近、伊万里湾にも流木やゴミ
が目立つようになった。企業が来
るのは大賛成だが美しい伊万里湾
を子供たちに残してやりたい。
滝野に大きな自然公園を作っては。

ゆずり合いの心を育てる
野口和子さん(松浦)

共働きなので子供
と接触する時間が少
ないので、休みには
1日楽しく子供たち
と過せる公園があっ
たらと思います。
住みよい町づくりの
ために、より一層の



岩野広喜さん



野口和子さん

広報座談会

あなた

ひらけゆく伊



個性とふれあいの教育を
高峰請雄さん(山代)

焼き物は贈り物として喜ばれる
が、値段的にも手頃な贈答特産品
と定まったものがあればと思う。
学校教育は成績偏重の教育でなく
個性を伸ばし、ふれあいのある教
育を。社会でも老人を除いてはふ
れあいの場が少なくなっている。

つながり、ゆずり合いの心を育て
ていく必要があると思います。
もっと地域にも働ける場所がほ
しい。



小林しずのさん



峰 輝正さん



藤森波男さん



田口美穂子さん

と考える

キャンペーン
シリーズNo.17

伊万里を語る

個性を出す地方の時代

伊万里市長 竹内通教

オールド伊万里の余韻が残っているうちに、ニュー伊万里の建設が必要で、その接点が今であり、計画を進める時です。伊万里は日本では西の果てですが、インターナショナルでは中心にあります。これからは発想の転換と伊万里としてのパーソナリティ（個性）を打ち出して行く地方の時代です。皆さんとひらけゆく伊万里を築きましょう。



伊万里湾開発で人口増を

福田イサ子さん（二里）

伊万里湾開発をもっと進めて、人口を増やすことが必要だと思う。伊万里湾を活用した中国との交流を期待しています。

伊万里～博多間は交通の便が悪く遠いものになっているので、新幹線が通るように誘致してほしい。



高峰 謙雄さん



福田イサ子さん

地域にも企業誘致を

藤森波男さん（波多津）

地元の自動車整備工場に勤めていますが、若者が働ける場所が少ないので地域にも企業を誘致してもらいたい。

スポーツ施設がなくて他町へ出かけている。施設を作ってほしい。

観光の目玉を作っては

田口美穂子さん（大川）

若者がとどまれる活気のある町づくりをしてもらいたい。

焼き物とフルーツだけでなく、もっと目玉になる観光づくりが必要だと思う。若者が夜間でも学べるような場を作ってほしい。

市政10年のあゆみ

昭和45年

竹内市政誕生
体力づくり「なわとび運動」推奨
立川鋳業所閉山

昭和46年

広域市町村圏協議会が設立
市民会館が落成
伊万里港が検疫港に指定

昭和47年

伊万里湾漁業補償など円満解決
市の花木決まる（ツツジ・マキ）
七ツ島工業団地の造成工事始まる

昭和48年

市上水道第5次拡張工事に着手
銀天街アーケードが落成
新庁舎が立花台地に落成

昭和49年

竹内市長2期目就任
工業用水道の長浜ダム完成
名村造船所が第1船を進水

昭和50年

国道202号線伊万里バイパス開通
龍門ダム完成・伊万里川改修完成
名村造船所第1船完成

昭和51年

駅通り商店街近代化事業に着手
佐賀国体（軟式野球・ホッケー）
歴史民俗資料館が開館

昭和52年

国見有料道路開通
伊万里工業団地の造成工事始まる
体力づくり運動で総理大臣賞受賞

昭和53年

竹内市長3期目就任
九州スミセが操業開始
立花台地下水処理施設が供用開始

昭和54年

中規模保養基地の建設決まる
市制25周年「交響詩伊万里」を製作
初の訪中国を派遣

編集後記

キャンペーンシリーズ「あなたと考える」も、今回で17回を迎えました。

早いもので夏の暑い日にゴミを追っかけて汗を流し取材した「ゴミをみつめる」は、つい先日のようにさえ思えます。

このページは、市政について市民の方に登場していただき、皆さんと一緒に考えてみようかと企画したものです。

今年も市民の皆さんに親しまれる広報づくりに励みますのでよろしくご支援ください。

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その12～

部落清掃やお年寄りを慰問

善意活動に励む伊万里中生徒会

社会を明るくするお手伝いが出来ればと、伊万里中学校（土井宗一校長＝1,033人）の生徒会は善意活動に励んでいます。

生徒会では自分たちにも出来る社会奉仕はと話し合い、町をきれいにしようと毎月第1日曜日に、各自が住んでいる部落の道路や公園の清掃をしています。

また、プラスバンドやコーラス、踊りなどクラブ活動を生かした向陽園の慰問は慣例となっており、お年寄りの皆さんからたいへん喜ばれています。

文化祭では生徒たちが持ち寄ったモチ米で慈善のモチつき大会を開き、モチを老人ホームにプレゼントしたり、売上代金を

恵まれぬ子供たちにと贈りました。会長の林典子さんは「私たちの力は小さなものですが大きな善意の輪になることを願ってこれからも機会あるごとに続けていきます。」と語っていました。



▲慈善のモチつきをする伊万里中生徒会

20年間続ける音楽時報

レコードかける内の馬場の前田さん

そよ風に音楽をのせて時を告げること20年、そんなすばらしい部落をささえた婦人が、今日もレコードをかけていました。

この方は二里町内の馬場の前田セキ子さん（57歳＝雑貨商）で、毎日11時30分になると公民館に備え付けの野外用スピーカーで時を

告げるためにレコードをかけ続けておられるものです。

20年前に放送器具を部落に備えたとき、野良仕事に出た人や子供たちに昼の時報を知らせる音楽を流そうと話しが出て、その役を引き受けたのが始まりとのことです。

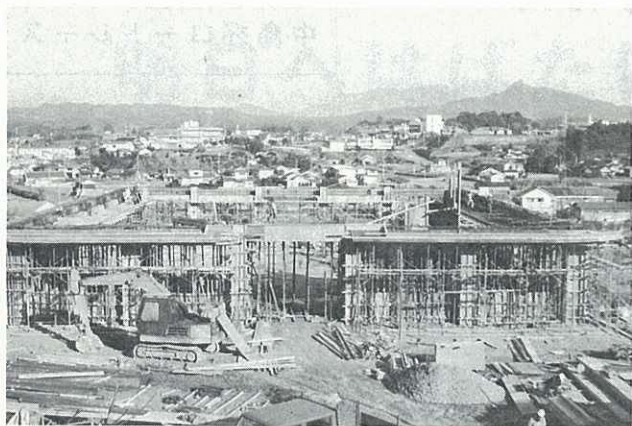
この部落では、あらゆる集会の連絡は音楽（みかん組合は『みかんの花咲く丘』のレコード）で知らせるというようにレコードによって区分されています。

前田さんは「レコードをかけているうちに20年が過ぎただけです。」と言っておられますが部落をはじめ周辺の皆さんからたいへん感謝されています。



▲レコードをかけて時を知らせる前田さん

新春に響け「つちおと」



▲武道館建設 国見台公園内に建設中で4月にはオープンの予定です。



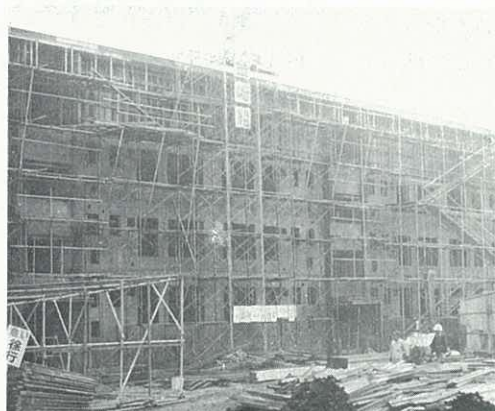
▲立花保育園建設 立花台地に4月開園予定で建設中です。



▲伊万里・有田焼伝統産業会館建設 陶磁器の殿堂、が4月オープンを目指し、大川内山に建設されています。



▲消防署東分署建設 市東部の消防、防災体制を充実させるため大川町に建設中で、2月末に完成予定です。



▲市営住宅建設 鉄筋コンクリート3階建のモダンな住宅が立花町と東山代町に建設されています。



▲西部老人憩の家建設 老人福祉を増進するため山代町久原に4月オープンを目指し建設中です。

※これらは簡易保険積立金、年金積立金などの資金融資を受けています。

利用者は1日平均19人

休日急患センター

昭和54年5月3日に診療を開始した、「伊万里休日急患医療センター」は、10月末日までの半年間に32日診療が行われ、利用された方は596人にのぼりました。

患者の年齢別内訳は0～4歳の乳幼児が最も多く全体の半数近くを占めています。

また、市町別の利用者数を見ると、約9割が伊万里市の方であと西有田町、有田町、福島町の順となり、その他県内外の利用者も31人ありました。

大川町と松浦町が 同タイム優勝

市内一周駅伝大会

第26回市内一周駅伝競争大会が、12月9日、師走の肥前路でくり広げられ、10区間、62kmで各町の代表選手が健脚を競い合いました。

今回、新たに大坪町を加えて11チームで優勝を争った結果、常勝の松浦町と、後半はげしく追い上げた大川町が累計3時間44分57秒の同タイムとなり、珍しい同タイム優勝しました。以下黒川町、二里町、東山代町と続き、躍進賞は山代町が獲得しました。



▲松浦公民館前で再スタート

その他、二、三次医療機関に直接送ったり、電話で相談を受けたものなどを含めると、処理件数は約700件になっています。



入園手続きは お早目に

今年保育園に入園を希望される方、継続保育を希望される方は、1月5日から16日までに申請書を希望の保育園に提出してください。

詳しくは、広報いまり12月号をご覧ください。

◆◆年金コーナー◆◆

国民年金の加入はお済みですか

国民年金は、20歳から59歳までの人で、他の公的年金に加入していない人が必ず加入しなければならない年金です。

加入されると、としをとったときの老齢年金のほか、けがや病気のとときの障害年金、一家の働き手をなくしたときの母子年金、遺児年金、寡婦年金などが給付され、あすの暮らしを守ってくれます。

20歳になった人、会社や工場をやめた人は早目に国民年金加入の手続きをしましょう。

参加者募集 中島杯ロードレース

市陸上競技協会は第15回中島杯争奪ロードレース大会を次のとおり行います。

▲期日 1月15日(成人の日)

▲受付 9時～10時

▲参加資格

- 一般(13km)…社会人・大学生
- ジュニア(10km)…19歳未満
- 中学(4km)…中学生
- 女子(2km)…中学生以上

▲参加申込

1月10日までに市陸協事務局吉武正美さん(黒川町塩屋134伊万里中学校勤務)か市教育委員会体育保健課へ。

☎でんでんだより☎

正月3日が、60kmを超えるダイヤル通話は、昼間も夜間と同じ割引料金になります。

「声の年賀状」はいかがですか。

現況届の提出時期を変更

毎年2月15日までに提出していただいていた国民年金現況届の提出時期が4月から変わります。

これによって、誕生日が4月以降の方は、本人の誕生月の末日が提出期限になります。しかし、1月～3月生まれの方は、今年に限り、従来どおり2月15日までに提出してください。

問い合わせは市役所市民課年金係(☎2111内線215)へ。

あすの暮しをみつめよう
あなたとわたしの生活展

現代のわたしたちの生活は豊かな物質と情報によって支えられていると言えるかも知れません。

それだけに、わたしたちは、「くらし」についての知識を深め、正しく取捨選択しなければなりません。

市と市消費者グループ協議会

は「豊かで幸せな生活」を送っていただくための契機として、次のとおり生活展を開催します。おさそい合わせのうえ、ぜひお出かけください。

- ▲期 日 2月2日～5日
- ▲時 間 午前10時開場
- ▲場 所 伊万里玉屋4階 催物特設会場

- ◆主な内容◆
- ・賢い消費者コーナー
- ・省資源コーナー
- ・くらしの安全を考えるコーナー
- ・消費生活相談コーナー
- ・電気相談コーナー
- ・米を見直すコーナーなど。



基準点測量にご協力ください

波多津・南波多南部地区

建設省国土地理院はは場整備事業や地籍調査、地域開発事業などの基礎資料を作成するため「基準点測量」を行います。

この測量によって、四等三角点を出し、コンクリート柱の基準点を設置して、調査のための基点にします。

次の地区の皆さんのご協力をお願いします。

- ▲対象 南波多南部地区6か所 波多津地区3か所
- ▲期間 1月16日～2月22日

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

◆香典返しを寄付

- ・大川内国雄(立花町西円)
- ・大川内九一
- ・副島尚茂(立花町富士町)
- ・田中幸子(波多津町浦)
- ・庄島勝次(山代町久原三)
- ・松本シヲ(波多津町細津)
- ・松本キヨ(波多津町下分)
- ・松尾進(松浦町金石原)
- ・高橋友一(東山代町大久)
- ・大塚恭邇(立花町東円)
- ・大宅実雄(二里町川内)
- ・吉永幸男(二里町川内)
- ・松尾シズエ(東新町)
- ・香月弥助(浜町)
- ・橋口政治郎(波多津町浦)
- ・林英樹(東山代町里)
- ・江向徳恵(大川内町市村)
- ・田代カネヨ(二里町大里)
- ・松原茂雄(立花台三丁目)
- ・堀田益治(大川町長野)

- ・亡父東洋一
- ・重松菊太郎(東山代町長)
- ・岩永英二(立花町富士町)
- ・篤志寄付
- ・老万円 伊万里仏教会

◆篤志寄付

◆老万円

- ・多島島けき(山代町楠久)
- ・伊万里農林高校(チャリテイバ)
- ・身心障害児父母の会へ
- ・小松敏規(東山代町長浜)
- ・篤志寄付
- ・老万円

◆香典返しを寄付

◆小松敏規

◆篤志寄付

◆老万円

ありがとう



ありがとうございました

- ・八千七百四十円 池田幹男(二里町内ノ馬場 二里小指定)
- ・体育振興奨励基金へ
- ・老万円 中島絨一(新天町六五四)
- ・成人記念樹を各町へ
- ・大川内公民館建設資金へ
- ・江向徳恵(大川内町市村)
- ・大坪地区社会教育
- ・振興資金へ
- ・小松マスマ(大坪町柳井)
- ・岩永英二(立花町富士町)
- ・波多津町コミュニティ推進資金へ
- ・信男(波多津町馬蛤)
- ・浜地義登(波多津町浦)
- ・老人クラブ指定)
- ・大川町つくり推進資金へ
- ・堀田益治(大川町長野)
- ・二里町明るい町づくり推進資金へ
- ・田代カネヨ(二里町大里)
- ・十二月号の寄付欄で桜木照彦さん(山代町楠久)の寄付は山代町青少年育成資金へ指定です。

◆老万円

◆成人記念樹

- ・大川内公民館建設資金へ
- ・江向徳恵(大川内町市村)
- ・大坪地区社会教育
- ・振興資金へ
- ・小松マスマ(大坪町柳井)
- ・岩永英二(立花町富士町)
- ・波多津町コミュニティ推進資金へ
- ・信男(波多津町馬蛤)
- ・浜地義登(波多津町浦)
- ・老人クラブ指定)
- ・大川町つくり推進資金へ
- ・堀田益治(大川町長野)
- ・二里町明るい町づくり推進資金へ
- ・田代カネヨ(二里町大里)
- ・十二月号の寄付欄で桜木照彦さん(山代町楠久)の寄付は山代町青少年育成資金へ指定です。

◆香典返しを寄付

◆小松マスマ

◆岩永英二

◆波多津町コミュニティ推進資金

◆信男

◆浜地義登

◆老人クラブ指定

◆大川町つくり推進資金

◆堀田益治

◆二里町明るい町づくり推進資金

◆田代カネヨ

◆十二月号の寄付欄

◆桜木照彦さん

◆山代町楠久

◆青少年育成資金

◆山代町

◆青少年育成資金

◆山代町

◆青少年育成資金

◆山代町

◆青少年育成資金

こどものページ

チビっ子市議会

おとな顔負けの意見

小学生のお友達34人が1日市議会議員となって、チビっ子の市議会を開きました。

この「子ども議会」は、国際児童年を記念して市青少年育成市民会議が、将来をなう皆さんの生の声を市長さんたちに聞いてもらい、ふるさとをよくしてもらおうと12月4日、市議会議場で開いたものです。

子ども議会は市議会で行われる一般質問と同じようなやり方で、議事の進め方を学びながら

市長・部長さんに質問しました。

議長には東島高章君（伊万里小6年）と犬山泰子さん（大坪小6年）が交代で務め、各学校代表の14人が演壇に立って「街の中に公衆便所を作って」「学校に飲める水がほしい」「自転車通学路を作って」など、たくさんの意見や要望をしました。

市長さんは、かわいらしい議員さんに顔をほころばせながらも、大人顔負けの活発な意見に真剣に答えていました。



▲熱心に討議する子ども議会

人づくりと豊かな住みよい町づくり

